

令和5年度 千葉県立野田中央高等学校 シラバス

教科	保健体育	科目	3年男女体育	単位数	3	クラス	1～8組
教科書	現代保健体育（大修館）		副教材等	アクティブスポーツ			

1 学習の到達目標等（科目の目標）

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	<ul style="list-style-type: none"> ・球技 ・武道 ・陸上競技 ・ダンス 	サッカー	<ul style="list-style-type: none"> ・年間4期制で行う。 ・Aグループ (サッカー・バスケットボール・バレーボール) Bグループ (テニス・バドミントン・ソフトボール) Cグループ (武道・ダンス) ・4期にわたり、上記3グループから必ず各1種目は選択する。 ただし、1学期はじめの9時間分は体づくり運動、 2学期はじめの6時間は体育理論の時間に当てる。 各種目、自主的な活動計画と活動実践の仕方を学ぶ。 	種目に応じてスキルテスト・小テスト等を実施します。 また、毎時間の授業への取り組みが評価となります。
5		ソフトボール		
6		バスケットボール		
7		バレーボール		
8		テニス		
9		バドミントン		
10		武道		
11		ダンス		
12		陸上競技全般		
1				
2				
3				

3 評価の観点

関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任などの態度を身に付けるとともに、健康・安全に留意して自ら運動をしようとする。
思考・判断	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。
運動の技能	自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の技能を高めている。また、自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けている。
知識・理解	社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。

4 評価の方法

「関心・意欲・態度」「思考・判断」「運動の技能」「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価します。

5 担当者からのメッセージ

確かな学力を身につけるためのアドバイス
体育にとっての「学力」とは、基礎的な体力、知識、技能のもとに意欲を持って「スポーツを実践する力」です。運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められます。日ごろから健康や安全に留意し、スポーツや運動を実践する習慣を身につけてください。 1・2年生で実施した種目を中心に実施します。3年体育では自主的活動を期待します。
授業を受けるに当たって守って欲しい事項
<ul style="list-style-type: none">・服装は学校指定の体操服を着用してください。夏季（6月～9月）は、Tシャツ、ハーフパンツとなります。・体育館、小体育館で行うときは指定体育館シューズを着用してください。格技館、セミナーハウスには素足であがってください。・持ち物にはすべて記名をしてください。貸借は禁止です。・授業はチャイムと同時に始めますので、授業場所へは休み時間のうちに移動を完了してください。また、貴重品はしっかり管理してください。・見学者は授業前に担当者に申し出て、指示を受けてください。原則として、見学者も体操服に着替えてください。・授業の用具は原則として体育科のものを使用します。使用には安全を心がけ、大切に使用してください。